

科目名	靴製作実習 II			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	整形靴科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
靴の製作に当たり、アッパーのシンプルなスリッパから入ったが、次に一般的な靴として短靴の製作を行う。 つりこみ方法については、最もシンプルである接着剤を使ったAgoシステムを用い、釘とタッカーで釣り込む。								
〔授業全体の内容の概要〕								
まず講師が製作のデモンストレーションを行い、その後、学生は次の工程のデモンストレーションまでに製作を進めていく。製作途中、または完成後に講師がチェック・評価を行う。本実習の製作の流れは、Footbedの完成→つりこみ→底付け→短靴の完成となる。								
〔講師の実務経験〕								
整形靴・義肢装具製作会社である株式会社大井製作所、有限会社平井義肢製作所に勤務。整形靴および足底装具の製造、接客業務に従事。2016年12月よりオーダー靴、整形靴の製作工房を開業。靴およびインソールの製作、靴修理、接客、販売を行なう。								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
①基本的なFootbedの製作ができる								
②木型に合わせたパターンデザイン・アッパーメイキングができる								
③Agoシステムを用いた短靴のつりこみができる								
回数	講義内容							
1	Footbed製作							
2	Footbed製作							
3	Footbed製作							
4	Footbed製作							
5	パターンデザイン							
6	パターンデザイン							
7	カウンター製作							
8	カウンター製作							
9	カウンター製作							
10	カウンター製作							
11	アッパー製作							
12	アッパー製作							
13	アッパー製作							
14	アッパー製作							
15	アッパー製作							
16	つりこみ							
17	つりこみ							
18	つりこみ							
19	つりこみ							
20	つりこみ							
21	つりこみ							
22	ウェルト							
23	ウェルト							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名				著者名		出版社		
整形靴の基礎知識						JESC		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
実習中の製作物で評価する								